



受付番号	A-第	号
受付年月日	令和	年 月 日
取扱者		

※上記は記入しないで下さい。

《記入例》

今治ビジネス・インキュベーションセンター

A プレ・インキュベーションオフィス

入居申請書

氏名（団体名）

今治 太郎

今治ビジネス・インキュベーションセンター
プレ・インキュベーションオフィス入居申請書

令和〇年〇月〇日

一般財団法人今治地域地場産業振興センター

理事長 徳永 繁樹 様

〒 794-0042

住所 今治市旭町 2-3-5

氏名 今治 太郎



今治ビジネス・インキュベーションセンターのプレ・インキュベーションオフィスに入居したいので、関係書類を添えて申請します。

1 勤務予定者等について

勤務予定者数	1人 (うち常勤 1人・非常勤 人)
インターネット利用の有無	有 ・ 無
駐車場利用の有無	有 ・ 無
※入居希望日	令和 △年 △月 △日～

※入居希望日については事務局とお打合せください。(未記入でも可)

2 事業計画書

別紙のとおり

3 申込者連絡先

会社名/団体名		電話番号	0898-12-3456
		携帯番号	090-1234-5678
役 職		FAX 番号	0898-98-7654
氏 名	今治 太郎	メールアドレス	info@izc.or.jp

4 添付書類

(1) 入居申請書 (2) 事業計画書 (3) 住民票 (3ヵ月以内)

(4) 完納証明書 (1ヵ月以内)

※提出された書類はお返しいたしませんのでご了承下さい。

※提出していただいた個人情報他の資料は適切に扱います。

※募集期間内に必要書類を下記応募先まで持参または、郵送 (締切日の消印有効) して下さい。(郵送の場合は封筒に入居申請書在中と記入してください。)

※完納証明書は、市役所の納税課で発行しています。課税対象者ではなく完納証明書が取れない場合は、市役所の市民税課にて所得課税証明書の発行を受けご提出ください。

【応募先】 〒794-0042 今治市旭町 2丁目 3-5
一般財団法人今治地域地場産業振興センター
IBIC (アイビック) 事務局 宛

事業計画書

※入居審査の資料としますので、できる限り具体的・詳細にご記入ください。

※本資料に基づく書類並びに審査委員会による審査で入居を不許可とする場合があります。

※下記の様式により詳細に記載して下さい。

(記入欄が不足する場合は、A4サイズにて表題を記入の上、適宜作成して下さい。)

1 代表者の略歴

(経歴・実績などを簡単に記載して下さい。※履歴書代用可)

最終学歴	平成2年3月	愛媛大学農学部卒業
資格取得	平成元年10月	火薬類取扱保安責任者甲種
	平成5年8月	タオルソムリエ取得
経歴	平成2年4月	今治産業(株)入社 主に一般事務、営業を担当 3年間従業員組合委員長を務める
	平成15年3月	今治産業(株)を自己都合により退職
	平成15年4月	今治スタッフサービス(株)入社 人材サービスの提案、マッチングなどを全般的に担当
	平成25年5月	今治スタッフサービス(株)を自己都合により退職
	平成25年6月	平成25年度愛媛農業入門塾を受講中(年間30日)

2 自己PR

(取り組んできた事・得意分野・趣味・長所・好きな本、言葉等何でも構いません)

・今治産業(株)に勤務していた時に3年間、従業員組合の委員長を務めていました。従業員代表として個々の立場で物事を考え、経営者側に言うべき事は臆する事無く発言を行ってきました。

・大学時代からパソコンに熱中しワード・エクセルは勿論ですが、ホームページを作成した事もあります。

・坂本光司先生の「日本でいちばん大切にしたい会社」という書籍を読みました。社員を大切にすると謳っている企業が実際に存在し成功しているという事実に驚き、感銘を受けました。人が人を結びつけ、繋がりの可能性は無限であると強く感じました。

3 事業計画の名称・事業内容・課題について

①事業名称（簡単にご記入下さい。）

第一次産業に特化した人材派遣業

②事業内容について

（計画の対象とする商品・サービスの具体的な内容等をご記入下さい。各項目を設けていますが、必要に応じて追加してください。）

<事業概要>

※誰に・何を・どうしたいかを簡潔に記入してください。

<事業開始の動機>

※きっかけ、意気込み、事業に対する思い入れ等何でも構いません

<事業の特徴>

※考えている事業（商品）の特徴について記入してください

特徴・・・新規性、優位性、競合他社との比較、価格面、品質面、製造方法等

<ターゲット市場>

※どのような市場に参入するか、その障害について等記入してください

<販売戦略>

※価格・販売方法について考えている事があれば記入してください

③課題

<当面の課題>

※自己の弱みや不足している点を洗い出し、当面の課題について記入してください。

<今治地場産業振興センター（IBIC）に望む事>

上記の課題解決等、センターに望むこと、して欲しいことを記入してください。

（例）

助成金の活用法と、どのような種類があるのか教えて欲しい。

異業種交流会などに参加して交流を広げたい。

4 事業収支

項目	開業初年度	第2年次	第3年次
売上高	(E)		
売上原価	(F)		
経費	(G)		
利益	(E) - (F) - (G)		

開業初年度から3年間の売上高、原価、経費、利益の予測を表に記入してください。

上記表の(E)～(G)は算出根拠の例を参考に記入してください。

【算出根拠の例】

《物販などの場合》

商品1個を400円で仕入れて1000円で販売

1日に20個の販売を目標で一月に20日勤務、1年間で4800個販売

その時に事務所代・人件費・設備・通信費等が1年間に (G) 2400000円必要

年間の売上高 = 1000円 × 4800個 = (E) 2400000円

売上原価 = 400円 × 4800個 = (F) 1920000円仕入れに掛かる

《物販を伴わない場合》

年間に6件のホームページ作成を1件当たり800000円で請け負い、写真撮影等の外

注費として年間 (F) 1920000円支払った

その時に事務所代・人件費・設備・通信費等が1年間に (G) 3200000円必要

年間の売上高 = 800000円 × 6件 = (E) 4800000円

追加事項や各数字の補足事項があれば記入してください。

商品単価、月の営業日数、経費の内訳（人件費等）等について記入。

事業収支表に赤字計上となった場合は、その説明も記入してください。

⇒ (例) 初年度は設備資金が嵩み赤字計上となるも、不足資金〇〇円は金融機関借入、〇〇円は自己資金にて対応し、第2年次からは利益計上となる。

5 事業実施スケジュール

実施項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①市場調査	→	→	→									
②専門家依頼		→	→	→	→	→						
③試作				→	→	→	→	→	→			
④HP 作成							→	→	→	→	→	→
⑤テスト販売									→	→	→	→

下記の実施項目例より選択し、矢印と共に記入してください。

<実施項目例>

- ・情報収集 ・改良 ・評価 ・HP 作成 ・外注発注 ・売込み ・信用確保
- ・市場調査 ・試作 ・専門家依頼 ・パッケージ作成 ・テスト販売
- ・アンケート収集 ・信用確保 ・計画書策定 ・資金調達 ・その他 ()

実施項目、スケジュールについての補足説明があれば記入してください。

◎ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

【お問合せ先】

〒794-0042

今治市旭町2丁目3-5

一般財団法人今治地域地場産業振興センター 5F IBIC (アイビック)

今治ビジネス・インキュベーションセンター事務局

(代表) TEL 0898-32-3337 / FAX 0898-32-8589

直通 TEL 0898-52-4818

E-mail : ibic@izc.or.jp